

## 親水空間等の整備・創出

事例名	4. 親水性向上
工事名	中須川カップと遊ぶ川づくり工事
施行場所	五島市玉之浦町中須
事業年度	平成9年度
実施機関	五島支庁
適応可能な事業	河川

### <具体的な環境配慮内容>

子ども達が水に親しむことが出来るように、階段・自然石護岸・飛び石等の整備を行った。

### <環境配慮の目的と視点>

中須川の中流域は美しい自然環境に恵まれており、鮎等の生物が数多く生息する河川である。また、川沿いにある小学校では川をテーマとした総合学習も行われている。しかしながら、既設護岸は水辺へのアクセスが容易でないため、子供達が水と親しむことが困難な状況であった。そこで、親水性を高めるための階段・自然石護岸・飛び石等の整備を図り水と親しみやすい環境空間とした。

### <環境配慮技術の概要>

護岸については、現地において発生する自然石を利用した護岸とし、できるだけ元の川に近づけるようにした。また、現地にある立木についても極力伐採せずに自然のままでの活用を基本とした。



整備実施前全景



整備実施後全景



中州を利用した広場



立木を残した遊歩道の整備



現在の状況（完成後6年経過）

<環境配慮による効果>

現地発生材を使用し、コンクリート量を極力減らす施工をしたことで在来の植生が回復し、水際の環境の多様性を保つことができた。

<課題等>

詰杭護岸工で一部施工している箇所があるが、貫杭が老朽化によって破損している箇所が見受けられる。

<同技術を採用した他の事例>

工事名称	実施機関
今福川河川環境整備工事	田平土木事務所
鈴田川河川環境整備工事	諫早土木事務所